



編集・発行 邑楽町役場企画課
〒370-0692 (住所記入不要)
☎ 0276-88-5511 (代表)
☎ 0276-47-5007 (企画課直通)
☎ 0276-89-0136
URL <http://www.town.ora.gunma.jp>
E-mail koho@town.ora.gunma.jp

邑楽町携帯サイト
2次元コード対応の携帯電話は、右のコードをご利用ください。読み取りができない場合はURLをご入力ください。
携帯用URL <http://www.town.ora.gunma.jp/k>



〈第三十回〉

若い人たちに語り継ぎたい、
次の世代に残しておきたい。
貴重な話をお届けします一。

あすへひとこと

「邑楽町の昔ばなし」より

汽車を喜んだ多十さん



汽車が多々良駅(元・中野駅)を初めて通過したのは、明治40年(1907)8月、それも足利止まりでした(写真はイメージです)

「汽車」というと、今では珍しい乗り物になってしまいました。しかし、電車が東武鉄道の多々良駅(元・中野駅)を通過するようになったのは昭和二年十月からで、それまでは汽車が走っていたのです。汽車が多々良駅を初めて通過したのは、明治四十年(一九〇七)八月、それも足利止まりでした。足利から先、伊勢崎まで開通したのは明治も終わりに近い四十三年七月だといえます。

当時は、すぐ近くを汽車が通るようになって、一般の人たちはなかなか乗る機会がなかったようです。汽車が通るようになったことで、土地には色々な思い話があります。

今から七十有余年も前になりますが、汽車が通るようになって、十年になるかならない頃のことです。鉄道線路の近くを矢場川が流れ、新しい線路は土手になっていて子どもたちのよい遊び場でした。子どもたちが遊んでいると、腰の曲がったおじいさんが杖をついて歩いてきました。おじいさんの名は多十さんといいました。

多十さんは矢場川の土手に腰をおろし汽車の来るのを待っていました。汽車が見えると、大きな声を出して「あつ汽車だ」と大喜びをしていました。

多十さんは、来る日も来る日も汽車を



見に来ていました。子どもたちは、こうした多十さんの姿を見て毎日元気に遊んでいました。

しかし、いつか多十さんの姿が見えなくなりしました。悲しいことに、多十さんは亡くなってしまったのです。近所の人たちは、一度でいいから多十さんを汽車に乗せてやりたかった、と話し合っていました。子どもたちも、おさな心に一度は汽車に乗せてあげたかったと思いましたが。

七十有余年過ぎた今でも「汽車が来た」と喜んで、多十さんの姿が目に見えようぶようです。

【発行】邑楽町老人クラブ連合会 【編集】あすへひとこと編集委員会
平成10年12月31日発行「高齢者の語り(第六集)あすへひとこと」より



咲き広がる
コスモス畑
(下中野地内)



Photo 高根澤高明(記録ボランティア)

ひとりごと From editors

▶10月12日、中野沼西沼で外来魚駆除大作戦を実施しました。これは、中野沼の生態系を維持し自然環境保護と西沼が釣り禁止区域であることを周知徹底するものです。中野沼は、平成11年に「中野沼と水生動植物群」として町指定天然記念物に指定。西沼は、貴重な動植物が生息しているため平成15年から釣りや動植物の採取を禁止しています。▶しかし、10月12日の大作戦以降も釣り禁止区域の西沼で釣りをしている人が後を絶ちません。西沼で釣りをしている人にお願いです。来年も外来魚駆除大作戦(1日限定で釣り解禁)を実施しますので、その時は、ぜひご協力いただき一緒に外来魚を駆除しませんか。また今回参加できなかった人の次回参加をお待ちしております。(藤田)



この広報誌は、自然保護のため
植物油インキを使用しています。